



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 田之畑 武 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,032	△4.4	△120	—	△82	—	△233	—
2020年3月期第2四半期	6,311	5.1	55	△80.7	119	△65.7	△0	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △188百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 13百万円(△93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△60.11	—
2020年3月期第2四半期	△0.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,595	4,738	37.6
2020年3月期	12,387	4,942	39.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,738百万円 2020年3月期 4,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,597	△6.8	△197	—	△125	—	△301	—	△77.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,746,000株	2020年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	848,389株	2020年3月期	868,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,885,960株	2020年3月期2Q	3,877,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年10月の消費税増税は家計負担を押し上げる一方、新たに世界的な脅威となった新型コロナウイルス感染拡大は、社会経済活動の制限によりインバウンド需要の消失及び国内需要の減退が大きく影響し、景況感が大幅に悪化している状況で推移しました。

水産及び食品業界におきまして、緊急事態宣言後、悪影響の拡大は和らぎ、経済活動も緩やかに正常化すると見込まれるものの、第1四半期連結会計期間中に発出された緊急事態宣言に伴う外出自粛要請の影響は大きく、観光地、ホテル及びイベント等の客足が激減したほか、外食控えや買い控え等により、国内消費・需要の冷え込みから依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」への取り組みを積極的に推し進める一方で、新型コロナウイルス感染症に対する予防対策会議を定期的に行い、自己防衛体制で取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高60億32百万円（前年同期比4.4%減）、営業損失1億20百万円（前年同期は営業利益55百万円）、経常損失82百万円（前年同期は経常利益119百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億33百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失0百万円）の減収減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

①水産事業

水産事業における養殖環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、鮮魚生産物消費の低下とともに価格安取引の値動きとなったほか、当期は記録的な集中豪雨、猛暑及び大型台風の発生で様々なリスクに晒されております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、自然環境の変化で不安定な養殖環境となったほか、夏生産のエビ細菌感染症対策や新型コロナウイルス感染拡大を背景に、養殖の稚エビ投入尾数が抑制されたことや一部取引先の細菌感染症が発生したこともあって飼料販売につながらず前年同期を大幅に下回りました。

魚飼料類は、新規販売先の開拓と既存取引先のシェアアップが図られたことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で鮮魚生産物の出荷も見合わせる動きとなり、養殖飼育の成魚が例年より多い在池尾数となったことから、ハマチ飼料類、マダイ飼料類及び雑魚飼料類が前年同期を上回りました。

鮮魚販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、卸売市場への鮮魚販売量が減少したほか、競り価格安の値動きとなりました。また、魚類種苗販売は、取引先の養殖魚の出荷見合わせで在池尾数が多かったことや放流イベントの延期等で、取引予約のキャンセルや尾数減の動きとなったことなどから、鮮魚及び種苗販売とも前年同期を下回りました。

その結果、売上高は36億12百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント損失は94百万円（前年同期はセグメント利益1億84百万円）となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費税増税の影響が残るなか、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、インバウンド需要の消失、外食市場低下及びイベント等の開催自粛となり、個人消費活動も縮小している状況から、企業間においては価格競争が続く厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、新型コロナウイルス感染拡大の影響で店舗営業自粛や旅行客減少の煽りを受け、業務用商品の販売は低下したものの、外食需要から内食需要への一時的な高まりから主力の乾麺類、即席めん類及び皿うどん類の自社ブランドの販売が好調に推移し前年同期を上回りました。

また、カレー類、シチュー類及びかき揚げ類の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、業務用及び外食向けの販売が大幅に減少しましたが、家庭用及び小容量サイズ商品の販売が好調に推移しました。

その結果、売上高は24億19百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は1億54百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億8百万円増加し125億95百万円となりました。これは、主として現金及び預金が26百万円増加、受取手形及び売掛金が5億70百万円増加、仕掛品が2億39百万円減少、原材料及び貯蔵品が1億4百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ4億12百万円増加し78億57百万円となりました。これは、主として買掛金が4億22百万円増加、短期借入金が6億2百万円増加、長期借入金が4億60百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2億3百万円減少し47億38百万円となりました。これは、主として利益剰余金が2億68百万円減少、その他有価証券評価差額金が45百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日の「2020年3月期決算短信」において公表しました2021年3月期通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「2021年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,053	1,985,173
受取手形及び売掛金	1,751,502	2,321,727
商品及び製品	599,867	748,637
仕掛品	467,774	228,372
原材料及び貯蔵品	1,329,319	1,224,894
その他	83,534	95,787
貸倒引当金	△11,528	△12,780
流動資産合計	6,179,522	6,591,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,370,125	1,332,959
機械装置及び運搬具(純額)	881,365	803,938
土地	2,127,540	2,145,994
その他(純額)	205,784	214,755
有形固定資産合計	4,584,815	4,497,648
無形固定資産		
のれん	243,997	210,411
その他	43,260	39,469
無形固定資産合計	287,257	249,881
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,374,992	1,295,510
貸倒引当金	△39,055	△39,055
投資その他の資産合計	1,335,936	1,256,454
固定資産合計	6,208,010	6,003,983
資産合計	12,387,532	12,595,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	566,052	988,709
短期借入金	3,654,527	4,257,361
未払法人税等	113,390	100,911
賞与引当金	161,621	167,212
その他	465,689	411,313
流動負債合計	4,961,280	5,925,507
固定負債		
長期借入金	1,725,734	1,265,095
役員退職慰労引当金	393,023	—
退職給付に係る負債	100,873	105,733
その他	264,231	560,933
固定負債合計	2,483,862	1,931,761
負債合計	7,445,142	7,857,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	443,700	440,432
利益剰余金	4,722,359	4,453,880
自己株式	△950,908	△928,473
株主資本合計	4,819,050	4,569,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123,339	168,787
その他の包括利益累計額合計	123,339	168,787
純資産合計	4,942,389	4,738,526
負債純資産合計	12,387,532	12,595,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,311,031	6,032,098
売上原価	5,073,201	5,031,837
売上総利益	1,237,830	1,000,261
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	271,286	276,984
貸倒引当金繰入額	1,743	1,251
給料及び賞与	270,345	247,139
賞与引当金繰入額	62,727	63,093
退職給付費用	14,305	18,467
役員退職慰労引当金繰入額	11,368	6,295
その他	550,787	507,437
販売費及び一般管理費合計	1,182,563	1,120,668
営業利益又は営業損失(△)	55,266	△120,407
営業外収益		
受取利息	3,076	4,018
受取配当金	4,903	5,344
保険解約返戻金	5,880	19,748
雑収入	79,556	31,374
営業外収益合計	93,417	60,486
営業外費用		
支払利息	9,908	9,284
為替差損	17,163	10,131
雑損失	1,916	2,708
営業外費用合計	28,987	22,124
経常利益又は経常損失(△)	119,696	△82,045
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119,696	△82,045
法人税、住民税及び事業税	94,172	109,215
法人税等調整額	25,637	42,324
法人税等合計	119,809	151,539
四半期純損失(△)	△113	△233,584
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△113	△233,584

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△113	△233,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,853	45,448
その他の包括利益合計	13,853	45,448
四半期包括利益	13,740	△188,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,740	△188,136
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,879,157	2,431,874	6,311,031	—	6,311,031
セグメント利益	184,570	131,653	316,224	△196,527	119,696

(注) 1 セグメント利益の調整額△196,527千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費184,980千円、営業外収益12,530千円、営業外費用24,077千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,612,266	2,419,832	6,032,098	—	6,032,098
セグメント利益又は損失(△)	△94,057	154,935	60,877	△142,922	△82,045

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△142,922千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費150,204千円、営業外収益24,217千円、営業外費用16,935千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。